





POINT

社会・組織の一員として、自分自身と所属組織(コミュニティ)に「責任と権限」が発生する
 自分の権利の主張の前に、公への義務を果たすことが必要不可欠
 社会の常識の範疇を理解し、どこまでが許される個性の発揮なのかを判断する、知識と能力が必要

A. 前提(共通)条件

時間厳守と自己管理は、最低限のルールとエチケット

時間・健康・身の回り・身だしなみ・言葉使い・態度・約束

会社と社会のルールとマナーを守る事を常に心掛ける

公私混同・対人関係・規則 / 規定の遵守

何が常識なのかを理解しておく

社会常識の範疇への理解・自己抑制

ルール 規則・規律・細かい決まり(内規)
 マナー 態度・振る舞い・やり方・相手に不快な思いをさせないための守るべき作法
 エチケット 礼儀作法・思いやりの心・相手への心遣い

B. 個人条件

